

まなび通信

- ◆ 最上教育事務所研修通信 第 3 号
- ◆ 令和5年10月13日
- ◆ 最上教育事務所指導課

教科担任マイスター研修会（舟形小）

今年度の教科担任マイスターは下記の通りです。

小学校

学校名	マイスター名
最上町立向町小学校	佐藤 和将 先生
舟形町立舟形小学校	吉浦 恭介 先生
戸沢村立戸沢学園	本澤 直樹 先生

中学校

学校名	マイスター名
舟形町立舟形中学校	指村 幸恵 先生

教科担任マイスター研修会を10月4日（水）に舟形小学校を会場に行いました。

授業者は、吉浦 恭介教諭、教科は外国語（英語）、学年は6年生です。

本時の授業は、「舟形町のある場所でできることを自分なりに考えて伝えよう」という課題でした。

ねらいは「舟形町のある場所でできることや感想を考え、基本的な表現を用いて伝えることができる」です。話すこと（発表）につなげるための位置づけで行いました。

初めはさいころトークで参観している方にインタビューに行きます。

知らない人に英語で話しかけるのは、大人でも緊張するものですが、子どもたちはペアで協力しながら、頑張ってテーマに基づいて英語で質問していました。【写真左上】



次はスモールトークです。「We can ○○. It's ○○」などの表現をペアで繰り返し発音して、今日の英語に慣れます。【写真右上】



次は Chant です。舟形町内にある場所の写真を見て、スモールトークで話したことを、リズムよく紹介していきます。

カードゲームを使って、カードが揃うとカードの舟形町の施設や自然について「We can ○○. It's

○○」の表現を使ってグループで説明します。【写真右】



最後におすすめの場所をスモールトークや

Chant を基に紹介する内容を下書きするカードに書き、今日の学習を振り返ります。（詳細は指導案）

学び多い研修会になりました。授業を提供いただいた吉浦先生、ありがとうございました。

事後研究会で出された「授業づくりで大切にしたい視点」

- 子どもの姿をイメージ・推察する。
- 手掛かりとなる環境・支援が大切。
- 「楽しさ」、「学び」の両立が大切。
- 質の高い楽しさを目指していく。
- 学びの中に「楽しさ」を見出せるように、ループリックを児童と共有する。